

「青森県ひきこもり実態調査」結果の概要

令和4年3月22日
青森県健康福祉部障害福祉課

調査の概要

【調査対象】

① **当事者（家族）** ※②の関係機関・団体が相談支援を行った当事者（家族）。本人が回答できない場合に家族が回答。

② **関係機関・団体**

市町村（担当課、社会福祉協議会、地域包括支援センター）、県ひきこもり地域支援センター、保健所、県社会福祉協議会、地域若者サポートステーション、訪問看護ステーション（精神通院自立支援医療指定）、民間支援団体2団体

【調査時期】

令和3年8月16日～9月15日

【回答数/配布数】

① **当事者（家族）** 回答数 88件（配布数216件中）

② **関係機関・団体** 回答数195件（配布数213件中）

【調査方法】

- ・対象者へアンケート調査票を郵送し回答を得る
- ・※当事者（家族）調査については相談先関係機関等を経由し郵送
- ・当事者（家族）調査については匿名による回答とし、回答は任意

アンケート調査に御協力ください
【青森県ひきこもり実態調査】

※この調査は、いわゆる「ひきこもり」の状態を経験する方（経験していた方）が、どのような支援を必要とするか（必要としていたか）等について把握し、調査をはじめとする関係機関の効果的な支援につなげるために実施するものです。

※アンケートは無記名で実施し、集計結果やその内容について公表する場合は、個人が特定できないようにいたします。

※調査票は、あなたにこれまで相談をしたり、支援を受けた機関から配布しています。

※本調査への回答は任意です。回答後の調査票をお送りいただいたことをもって、本調査への御協力に御礼いたします。

※回答を進めていく中で「回答するのがつらい」と感じた場合は、回答を途中で止めていただいても構いません。

※その他、疑問や不明に感じることがありましたら、下記へご連絡ください。

【お問い合わせ先】
青森県健康福祉部障害福祉課 調査・調査
電話017-734-9307（FAX）017-734-8092

調査結果（抜粋）（%）はいずれも回答割合を示すもの

① **当事者（家族）調査** ※【 】は回答者。「家族」の場合は本人に代わり回答したもの。

困っていること（上位）

【本人】経済的なこと(21%)／就職・仕事(20%)／健康状態(14%)／親の高齢化(9%)／人付き合い(9%)

【家族】経済的なこと(13%)／家族との関係(13%)／就職・仕事(11%)／健康状態(11%)／親の高齢化(9%)

将来について不安を感じることに（上位）

【本人】経済的なこと(20%)／就職・仕事(18%)／健康状態(15%)／親の高齢化(14%)／家族との関係(8%)

【家族】親の高齢化(19%)／わからない(15%)／就職・仕事(13%)／経済的なこと(10%)／健康状態(8%)

今後どのような支援を希望するか（上位）

【本人】面接相談(21%)／働く場所(18%)／就労訓練(13%)／メンタルフレンド(9%)／居場所(8%)

【家族】電話相談(8%)／就労訓練(8%)／働く場所(8%)／メール相談(5%)／居場所(5%)／家庭訪問(5%)

どのようなきっかけで支援機関を利用するようになったか（上位）

【本人・家族】
その他(ハローワーク他)(36%)／家族などの勧め(33%)／自分で探して(18%)

（「自分で探して」の方法：ネット(11%)／相談機関等チラシやパンフ(3%)／マスメディア(2%)

心の健康状態に不調を感じることもあるか（上位）

【本人】
ある(78%)（たまにある(32%)／よくある(28%)／いつもある(18%)

ひきこもるきっかけで思い当たること（上位）

【本人】人間関係(24%)／不登校(21%)／職場になじめない(13%)／※参考：コロナ禍の影響(2%)

【家族】不登校(31%)／人間関係(15%)／就職活動(9%)／退職(9%)／※参考：コロナ禍の影響(0%)

ひきこもり状態でなくなったきっかけ（上位）

【本人・家族】
その他(就労(活動))(21%)／相談相手からの助言(13%)／ひきこもったきっかけ解消(8%)

ひきこもり支援について（自由記載、カテゴリー分類化した結果の上位）

【本人・家族】
支援体制への要望や提言(61%)／心情や境遇等(18%)／支援者や支援体制への肯定的意見(10%)

② **関係機関・団体調査**

貴所でひきこもり支援業務全般で業務の連携先としている関係機関・団体（上位）

市町村(22%)

民生・児童委員(16%)

地域包括支援センター(14%)

社協(13%)

保健所(8%)

地域若者サポートステーション(7%)

県ひきこもり地域支援センター(6%)

貴所におけるひきこもり支援の課題（上位）

相談に消極的な本人や家族へのアプローチが難しい(21%)

相談者が家族である場合、本人へのアプローチが難しい(17%)

本人の精神疾患が疑われるが、医療機関の受診につながらない(15%)

支援を必要とする本人や家族の掘り起こしが難しい(15%)

ひきこもり支援人材の不足(9%)

ひきこもり支援の方法がわからない(9%)

県内で今後必要(有効)と思われる支援施策（優先順位3位中1位のもの上位）

関係機関・団体間のネットワーク構築支援(34%)

支援者を対象とする研修会(17%)

県ひきこもり地域支援センターによる専門的な助言・指導の充実(16%)

本人の居場所作りやグループ活動の支援(10%)

ひきこもりに関する意見（自由記載、カテゴリー分類化した結果の上位）

支援体制への要望や提言(41%)／支援体制への不満(31%)

心情や境遇等(22%)